

Tokyo Kasei Press

VOL.
84
2020.4

02-05 2020年度 新入生の皆さんへお祝いの言葉

06-11 自分らしく『しなやかに、凜と生きる』ための学生生活ガイド



- 12 - 13 幼児・初等教育&英語研修
(ニュージーランド・マッセイ大学)
- 14 - 15 在学生紹介(人文学部教育福祉学科)
- 16 - 17 活躍する卒業生(JICA 青年海外協力隊)
- 18 造形表現学科「卒展」
- 19 課題協働型インターンシップ
- 20 - 21 附属女子中学校・高等学校
- 25 博物館
- 26 サークル紹介
- 28 理事長コラム「世界を生きる、

K しなやかに、凜と生きる。
TOKYO KASEI UNIVERSITY

東京家政大学大学院
東京家政大学
東京家政大学短期大学部
東京家政大学附属女子中学校・高等学校

2020年度 新入生の 皆さんへお祝いの言葉 ようこそ、東京家政大学へ



「コロナ撃退」へ心身充実

理事長 菅谷定彦

渡辺学園に入学された学生、生徒の皆さん、おめでとございませう。昨年12月、中国武漢で感染が始まった新型コロナウイルスは3月に「パンデミック」（世界的大流行）となり、ヒト・モノの動きやスポーツなどのイベントの延期や中止が相次ぎわが国も時が止まった形になっています。コロナウイルスは発生原因、受診方法、治療用ワクチンなどが不明、不備。感染

を防ぐには「飛沫」「接触」と「クラスター」（密集感染）を避けるしかありません。このため大人数の東京家政大学の入学式を、授業打ち切り、卒業式中止に続いて止めざるを得なくなりました。

新入生の皆さんには、自宅、下宿などでの生活が続きますが、天から与えられた自己研鑽の時間と考え、受験勉強で十分に出来なかつた読書などの教

養や趣味の向上に充て、心身充実を図って、新学期のスタートを新鮮な気持ちで迎えて下さい。

全国の4年制私立女子大学は2018年から大学進学年齢の18歳人口減少本格化を前に、2019年5月までの20年間で22校減り72校になりました。わが国の長引く不況、地方創生を狙っての文部科学省の都内私立大学の定員規制もあり、女子大学減少には今後加速するでしょう。

そんな中、創立139年の渡辺学園は、女性の社会での活躍をリードする、女性の「自主自律」の建学精神を年々発展させ、一般教養に加え、レベルの高い専門性を身につけた11万人の学生を送り出してきました。この結果、志高い学生が、板橋、狭山の緑豊かな校舎に結集。レベルの高い教員、堅実なマネジメントも加わって教育経営基盤は強固になっています。

新入生の皆さんには、コロナにまけないよう心身の充実に加えて手洗い、うがい、消毒、マスク着用を励行、元気に登校するように願います。

に、自分で考えられるようになるという主体的なかかわりが大切です。そのためにもクラスの仲間との切磋琢磨を心掛け、成長していきましょう。

2つ目に、学ぶ上では問題意識・課題意識が大切です。同時に、それらの問題や課題に常に答えがあるとは限らないのです。今までは、教科書の質問や問題には必ず解答があり、正解が明示されてきました。これから皆さんが向かっているところでは、自分で答えを見つけ、探すことが求められます。

3つ目に、大学教育は、特に研究面では将来は独り立ちすることを目指して教育が行われます。研究する者として自分自身の力を頼りに研究を進め、正解、最適解を導き出すことになりま

す。研究方法も実験なども、自分でできることを目指します。

本学では、2018年度から、「ひとの生(Life)を支える学の構築」事業を始めました。家政学の分野が広くなり、家政学がわかりにくいとも聞かえてくる中で、大学として特色ある教育・研究を創り上げ、社会に知ってもらいたいからです。

新入生の皆さんが楽しく、たくさん学ぶことができる大学にしていきたいと思えます。どうぞ、皆さんと一緒に東京家政大学・東京家政大学短期大学部をつくりましょう。

新入生のみなさんへ

学長 山本和人

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。創立140周年を来年に迎え、自主自律を建学の精神とし、愛情・勤勉・聡明を生活信条とする、伝統ある東京家政大学・東京家政大学短期大学部（以下「大学」）にお迎えし、教職員一同、皆さんを心より歓迎いたします。

皆さんの学びのスタートが、新型コロナウイルスの脅威により、例年とは異なるものとなってしまいました。し

かし、それに負けず、先生方と一緒に授業を創り上げ、有意義なスタート切っただけいいと思います。ここでは、大学での学びについていくつか知っておいていただきたいことをお伝えしたいと思います。

まず、大学での学修は、高等学校までの学びを基礎としています。長文を読み難解な言葉に出会ったり、講義内容の把握が大変であったり、困難な場合もあるでしょう。そうした学びを基

入学おめでとうございませす。 東京家政大学へようこそ！

家政学部長 手嶋尚人
(造形表現学科 教授)



家政学部長は短期大学部も含め、6学科2科で構成されています。児童学科・保育科、児童教育学科、栄養学科・栄養科といった多くの学生が資格を取り、それを活かした職を通じて、社会に貢献し生きていくという学科、服飾美術学科、環境教育学科、造形表現学科は取れる資格もあります。それ以上に専門的な能力を身につけて社会に貢献し生きていくという学科です。

Aーの急激な進歩の中、誰にも先が読めない社会となっていますが、東京家政大学で皆さんに身につけて頂きたいのは、真の生きる力です。

資格や専門的な能力を身につけることで自信を持ち、それと併せて、前向きな思考、クリエイティブな発想が必要だと考えます。その為には、学生時代に積極的に失敗と成功を繰り返す、様々なことを経験することにあると思います。経験値を増やし、その中でこれからの人生の方向性を見出すこと

が、学生時代にすべきことです。生活信条の「愛情・勤勉・聡明」のうち、愛情と勤勉は本学に入ってくる学生との親和性は高く、理解できやすいですが、聡明は中々難しい。特に若い人には難しい。聡明は、様々な経験を通じた思考過程で導き出されて身につくものです。

そして、愛情の中に含まれるものだと思いますが、大学時代には是非、多様への寛容を身につけてください。これからの社会は、グローバル化もそうですが、身近な社会においても様々な考え、事象に対応できる強さが必要だと思えます。その為には、大学時代に同じ価値観を持った友人をつくり、みんなで本当の意味で強くなることです。

学生時代という短い期間ですが、人生の最初の方向性を決める時期であります。是非、有意義な創造的な経験を多くして、聡明な人生を歩めるようにしてください。

新入生の皆さん、 ようこそ東京家政大学へ！

人文学部長 三浦正江
(心理カウンセリング学科 教授)



この3月、大勢の先輩たちが本学を巣立っていきました。4年間、信頼できる友人とともに新しいことや困難なことに取り組み、泣いたり、笑ったり、悩んだり、喜んだりしながら、充実した毎日を送っていました。そして、数えきれないほどの思い出と入学時には想像もなかった成長を胸に次のステージに進んでいきました。残念なことに卒業生の華やかな袴姿をみることはできませんでしたが、彼女たちがキラキラ輝く存在であることに変わりはありません。

これは、皆さんの4年後の姿です。想像して下さい。皆さんは、これから大学で多くの素晴らしい友人と出会い、たくさんの刺激を受けて自分の世界を広げるでしょう。これまでに乗り越えられなかった壁を乗り越え、自分で見つけた夢を、自分自身の力で掴みとって羽ばたいていくことでしょう。私たち教職員は、時には前から引つ

張り、時には背中を押して、皆さんの4年間に寄り添います。今、新型コロナウイルス感染症への不安から社会は混乱していますが、これは東京家政大学に集う私たちへのメッセージだと感じています。こうした状況では、問題を自分のものとしてえ、今自分がやるべきことを冷静かつ賢明に判断・行動することが求められます。また、これを実践するためには、自分を律する態度や他者へのあたたかい思いやりが必要です。これらは、まさに東京家政大学の建学の精神(自主自律)や生活信条(愛情、勤勉、聡明)をあらわすものであり、現代に生きる私たちに求められている姿です。皆さんの「家政大生」としての学びは、すでにスタートしています。どのような状況も学びと成長の機会とし、皆さん自身のペースで充実した4年間を過ごして下さい。

新しい一歩を踏み出す 新入生の皆さんへ

健康科学部長 今留忍
(看護学科 教授)



点から、その人がどうありたいかというその人の思いを尊重し、支援する看護学・リハビリテーション学を学ぶ4年間は、必要な知識・技術を積み上げていくための学修課題が山の

新入生の皆さんは、看護・リハビリテーション分野の専門職者になる夢を育むための第一歩となる入学式を心待ちにされていたことでしょうか。入学式は、皆さん、ご家族は残念な思いをなさっていることと推察いたします。世界各地に拡大している新型コロナウイルス感染症の対応策として、中止を余儀なくされたことは、教職員も残念ではありません。

さて、皆さんは、病気や事故で体が不自由になったらどう暮らしたいと思えますか。恐ろしく、病氣や障がいがあったとしても自分らしい生活を送ることを願うでしょうか。誰もがそう願います。その願いを達成するために、健康科学部は、いの方の誕生から老いまで、あらゆる年代の人々がその人らしく「生活する」を支援するために必要な能力を備えた看護・リハビリテーションの専門職者を育てることを目指しています。

病氣をみる「医療」の視点と、生きていく営みである「生活」の両方の視

点から、その人がどうありたいかというその人の思いを尊重し、支援する看護学・リハビリテーション学を学ぶ4年間は、必要な知識・技術を積み上げていくための学修課題が山のようにあります。高校までとは全く違った学修形態であり、自ら学ぶ姿勢を持たなければなりません。学修過程では困難に直面し、行きつまることもあるでしょう。スムーズにいくことの方が少ないかもしれません。絶対に看護・リハビリテーションの専門職者になるといふ前向きな気持ちがあれば、立ちふさがった壁を乗り越える方法は見つけられるはずです。できないことはできるよつに努力し、工夫し学んでいけば道は自ずと開けます。

入学式は中止になりましたが、皆さんが学業に専念できるように学びの環境を整えて待っていますので、「看護とは？」「リハビリテーションとは？」探しの旅と一緒に始めましょう。

ご入学おめでとう！

そして、一生の記憶に残る貴重な1ページ、 令和2年度の新学期

子ども学部長 大澤力
(子ども支援学科 教授)



ご入学、本当におめでとうございませす！全学挙げて、心から歓迎申し上げます。さて、その目出度い門出の年である【令和2年度】という新学期

は、新入生お一人おひとりにとって、まさに一生の記憶に残る貴重な1ページとなること、間違いございません。9年前の東日本大震災の記憶もさることながら、いつの時代にも大きな出来事は存在するものですね。そして、その一つが今回の新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の世界的な大流行なのです。世の中の出来事とは、良いこともあれば悪いこともある・・・悲喜こもごも、織り成す縄のよつなものです。皆様はその一生の記憶に残る貴重な1ページを入学当初から実体験されておられるのです。人生100年の時代、各人各様、様々な人生があるものですが、そうした中での

貴重な実体験のひとつなのです。これから始まる4年間か2年間の大学生活、期待に胸を膨らませておられる皆様にとって、今回の出来事はマイナスからの出発かもしれませんが、しかし、織りなす縄のごとき世の中の出来事です。新入生である皆様方と共に、すべての在校生や教職員が心を一つに手を取り合いつつ、前向きに受け止め進むことこそ、今回の出来事を活かす最大のチャンスと考えます。

ピンチはチャンスとばかりに、新入生、お一人おひとりの健康と活躍、広く深い学びが叶えられますよつ、精一杯教員として努力させていただきますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。東京家政大学・東京家政大学短期大学部がこれまで約140年に渡って受け継いできた建学の精神である「自主自律」。新入生のみなさんは、これから「自主自律」の歩みを始めることとなります。これからの大学4年間・短大2年間は、「自主自律」の生き方に根を張るための経験を積む時間とも言えるでしょう。今回は、自主的・自律的な歩みを進めるためのヒントを3つに絞ってお伝えします。

自主自律を始める貴女へ



井上 俊哉

東京家政大学・東京家政大学短期大学部 副学長
学修・教育開発センター(CRED)所長
人文学部心理カウンセリング学科教授

1. 目標を持つとう どんなに小さなことでも 「達成できた」が大事

みなさんはどんな目標をもって、入学しましたか。「自律」とは、目標を持つことから始まります。目標が決まっていな人は、これから探しましょう。実現まで時間のかかる大きな目標がすぐに見つからないのであれば、まずは小さな目標を持ちましょう。そして、頭で考えるだけでなく、行動に移すのが鍵です。どんなに小さなことでも、「達成できた」という経験が大事です。

2. 自分を知らう 対人関係が苦手でもいい できることを少しずつ

一人でいるとき、家族でいるとき、初対面の人に囲まれたとき、場面が変われば人の感じ方や行動は変わります。いろいろな状況の中で、自分がどんなふうに見えるのか、何ができて何ができないのかを確かめましょう。一人の時間ももちろん大切ですが、一人で内省するだけでは見えてこない「自分」もあります。大学生活には、サークル活動やボランティア、学園祭といった人と交わる多様な機会があります。

3. 自分を磨こう 興味をもって 自ら進んで取り組めるテーマを

「自主自律」であるためには、勉強ももちろん大切です。主体的に授業に取り組むことで、さまざまな角度からものを見る視点を手に入れることができます。専門分野を深く理解することができます。授業の内容を自分の力にするためには、授業に集中して臨むことはもちろん、授業時間外の勉強(予習・復習)も欠かせません。授業科目以外の勉強も大いに結構です。読書もお勧めします。少数でもかまいませんから、興味をもって自ら進んで取り組めるテーマを見つけましょう。大学時代に学んで得たことは、今後の人生における自分の考えや意見の基盤となります。懸命に努力した経験は、あなたの判断力と自信を養います。

自分らしく

『しなやかに、凛と生きる』ための 学生生活ガイド

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんが自分らしく生きる女性をめざして、「自主自律」の建学の精神をわがものとし、「愛情・勤勉・聡明」の生活信条を価値あるものとする学生生活に向けて、学修や各種講座、ボランティア活動など、いくつかのヒントをお届けします。

- ①あなたにおススメの本「若い女性(ひと)」…………… P.06
- ②学生生活の過ごし方3つのヒント…………… P.07
- ③卒業後の進路決定お役立ち情報…………… P.08
- ④教養あるステキな女性になる講座…………… P.09
- ⑤正課外活動は人間力UP!…………… P.10-11
- ⑥夢を叶える後援会ドリームプラン奨学金…………… P.11



おススメの本

若い女性
ひと

青木誠四郎 著

私が若い人達のことを考え、若い女性に対してほんとうに願うことは、この人なら自分で自分の生活を帰結できる、正しい方向に帰結できる、りっぱな人生を生きぬけるという、信頼できる人になってもらいたいということである。



東京家政大学 生活信条「愛情・勤勉・聡明」

1. 自分の人生は
自分が作っていかなければ誰も作ってくれるものではない(*1)
2. 学校は、何かを学ぶというのではなく、
いかに考えるかを学ぶところである(*2)
3. 一日一時の生活について、
それがあなたの方の全体の生活を作っていくものであることを忘れないでほしい(*3)

東京家政大学初代学長 青木誠四郎著『若い女性』より

(*1)~(*3) 青木誠四郎(昭和24年-東京家政大学学長)著『若い女性』青木誠四郎先生若い女性刊行会(*1)p.200、(*2) p.165、(*3) p.228

学生時代に参加しておきたい“自分磨き”講座

学生時代の感性豊かな時期に、視野を広め教養を高めることを目的に、学生生活支援行事としてテーブルマナー講座や観劇等講座を毎年実施しています。様々な文化・伝統・芸術に触れて感性を磨くことで、教養のある女性へと近づくことができます。

学生時代にぜひ、感性を磨く機会に積極的に参加してみましょう。講座は1回につき2,000円とリーズナブル、東京家政大学・東京家政大学短期大学部の学生だからこそ参加できる機会をお見逃しなく!



2020年度

～ミュージカル鑑賞やテーブルマナーが、2,000円で受講できます～

観劇等講座

定員:各回とも210名(応募者多数の場合は抽選)

- ▶ **オーケストラ「東京交響楽団」**
2020年9月26日(土) サントリーホール
- ▶ **バレエ「くるみ割り人形」**
2020年12月12日(土) 新国立劇場

※在学中、オーケストラ/バレエはそれぞれ1回のみ参加可能

・募集など詳細案内は、学生宛にポータルで配信します。 ・予定ですので、変更になる可能性があります。

テーブルマナー講座

定員:各回とも320名(応募者多数の場合は抽選)

- ▶ **日本料理** 2020年10月1日(木)
ホテル椿山荘東京
- ▶ **西洋料理** 2020年11月7日(土)
ハイアットリージェンシー東京

※在学中、日本料理/西洋料理はそれぞれ1回のみ参加可能

「茶道体験」 究極のおもてなしと言われる茶道。体験の形式で敷居を低くして、講師の先生に教えていただきます。改めて自分の国の文化や伝統を理解して、茶道を通じて日本のおもてなしの心や伝統文化の素晴らしさ、お抹茶の美味しさを学びましょう。

〈板橋キャンパス〉2020年6月18日(木)板橋区立文化会館 定員50名
〈狭山キャンパス〉2020年5月21日(木)狭山キャンパス 定員30名
(※応募者多数の場合は抽選または先着順)

こちらは
無料!



お問い合わせ先
〈板橋キャンパス〉
学生支援課(16号館1階)
03-3961-2079
〈狭山キャンパス〉
学務課(1号館2階②窓口)
04-2955-1626

大学4年間 短大2年間
1,461日、730日

夢を叶えるために 貴女はどんな学生生活を 過ごしますか?

卒業後の進路は、就職、進学、留学など色々な道がありますが、どの進路を選択するにしても、入念な準備ができていないかどうか決め手となります。例えば、就職ならば自己分析を行うと同時に、志望先に見合った実力(社会性、一般常識、専門知識、)が必要です。すぐに身につく力ではないからこそ、**「早めの対策」「しっかり学び、きちんと行動」が最良の方法**です。



“がんばった人”は必ず志望の進路を手にしていきます

1. 第一に学業

就職も進学も、成績が評価の対象になります。進路決定の時期になって、「やっておけばよかった」と悔やまないために、**大学の授業を第一に考えて履修**しましょう。就職や進学が決まっても、**「卒業することが条件」**ですから、卒業単位不足や成績不十分で卒業延期や留年にならないよう単位の確認をしながら、多くのことをしっかり学んでください。

2. 正課外活動に積極的参加を

「学生生活で力を入れてきたことは何ですか?」就職活動の面接時に必ずと言っていいほど聞かれる質問です。**サークル活動、ボランティア活動、インターンシップでの経験**や人間関係は、社会生活を送るうえで大きな財産になるとともに、就職活動にもプラスになります。自分の興味・関心に合わせて、一歩踏み出し、行動してみましょう。

3. 一般常識とマナー

すぐに身につかないのが一般常識とマナーです。時事問題など広く知識を得るために**新聞を毎日読む習慣**をつけてください。また、言葉遣いや身のこなしなど、マナーは急に身につけることが難しいものです。**正しい日本語**を使い、**正しいマナー**を身につけ、丁寧に相手に読みやすい文字を書くよう、普段から心がけて習慣化しておきましょう。



学生メンバー
募集中!

(毎月25日実施)

にこにこあいさつ運動

板橋キャンパスでは、学生同士、学生と教職員、教職員同士……そして、学園を訪問して下さる方々と元気に挨拶を交わし合う学園を目指し、あいさつキャンペーン「にこにこあいさつ運動」を授業期間中の毎月25日(※ニコニコの語呂合わせ)実施しています。

現在、あいさつ運動への学生参加メンバーを募集中です。東京家政大学をもっと“元気に!”変えてみませんか?きとんとあいさつできる女性になりたいけど、自分からあいさつするのがちょっと苦手な方、かたじけなく……という方、まずは声掛けの練習から一緒にしてみましょう。興味のある方はお気軽に、学園運営室までご連絡ください。

2020年度
実施予定日
朝8時30分頃～9時頃、十条門
5月25日(月)、6月25日(木)、
9月25日(金)、11月25日(水)

お問い合わせ先
学園運営室
(板橋キャンパス 百周年記念館3階)
03-3961-5690

学部・学科・科・学年を超えた学内で

の自主活動に参加して人間力UP!

Hulip(ヒューリップ)ボランティア

学内で!企業と!地域と!
イベントやボランティア活動で、人との出会いを自分の成長につなげよう

Hulip(ヒューリップ)では、学部、学科・科、学年の枠を超えて参加できるイベントやボランティアを豊富にラインナップしています。大学での学びをいかして、地域の役に立つ活動への取り組みを通して、授業だけでは学べないことを経験し、人との出会いを自分の成長に繋げてみませんか?

森のサロンボランティア(板橋キャンパス 1号館 2階)

0～3歳の親子対象の子育てひろば「森のサロン」で、たくさんの親子とふれあうことができます。また、親子を対象とした学生企画イベントも開催できます。



フリーマガジン、Web マガジン掲載のレシピ考案

医療系フリーマガジン「DRP Healthcare magazine」やスポーツ女子のためのWebマガジン「RanRun」に掲載するオリジナルレシピを考案し、写真のテーブルコーディネートまで担当します。



まずは登録を!東京家政大学ヒューマンライフ支援センターのホームページから登録できます。(学内ネットワーク利用時のみ)



〈活動の事例〉

- 企業との商品開発コラボ
- 緑苑祭(学園祭)でのカフェ企画&運営
- 北区高齢者ふれあい食事会
- 東京都障害者スポーツ大会でのサポート

図書館学生ボランティア

本学図書館には図書館学生ボランティア団体があります。板橋キャンパスで活動する Library Mates と、狭山キャンパスで活動する Sayama Book Friends にわかれています。

いずれも学生と図書館と一緒に、より使いやすく親しみのある図書館づくりを目指して活動しています。活動内容は図書館グッズの製作や他大学の学生ボランティア団体との交流イベントへの参加、本のポップ作り、図書館内飾りつけなどがあります。その他 Library Mates は連続講座「Kasei no Wa」の企画運営への参画、選書ツアーなどの活動が行われました。Sayama Book Friends は狭山緑苑祭への参加をしました。

令和2年度メンバーを大募集しています!!みなさんのアイディアで、一緒に図書館を盛り上げてみませんか?

～図書館に吹く新たな風～

板橋図書館 Library Mates

令和2年度のメンバー募集については、図書館ホームページをご確認ください。



板橋図書館では別館に Library Café(仮称)がオープン予定! その企画運営も Library Mates 活動として参加しませんか!

狭山図書館 Sayama Book Friends

■申込方法 狭山図書館で配付の申込書に記入をしてカウンターへ。カウンターでは個別に質問や相談を付けています。

■受付 随時



▲七夕飾り製作

インターンシップの詳細はキャリア支援課へ!

— 学内インターンシップ生受入 —

板橋図書館では学内インターンシップ生の受け入れも行っています。就業体験、課題協働型など様々なタイプで実施しています。令和2年度も受入れ予定です。キャリア支援課で受付します。



▲図書館総合展で他大生と交流



▲連続講座「Kasei no Wa」の企画運営

あなたの夢を叶える 後援会ドリームプラン奨学金(上限30万円給付)

学生生活をより豊かなものにするために、有意義でオリジナリティあふれるユニークな計画を持っている本学在学中の学生に対して、その計画の実現を後援会が支援することを目的として給付する奨学金です。

これまでに採用された企画

- テキスタイル展をプロデュース!!(2019年度)
- 学会全国大会で口頭発表に挑戦!(2019年度)
- 南三陸における「健康カフェ」の実施(2019年度)
- こそだてどんりゅうてらこや道場(2018年度)
- 初めての個展開催(2018年度)

- 給付額: 一つの計画につき、上限 30 万円
- 応募資格: 本学在学中の学生であること
- 申請期限: 2020 年 5 月 29 日まで
- 申請書の提出: 郵送または後援会事務局まで提出
- 審査: 後援会役員による書類選考および面接
- その他: 実施後は報告書等の提出が必須



テキスタイル展の制作

詳しくは、東京家政大学後援会ホームページをご覧ください。



緑苑祭(学園祭)企画「EVEファッションショー」 服飾美術学科以外の学生も参加可能

毎年 10 月下旬の週末に開催される緑苑祭で最も集客数が多い企画が、服飾美術学科の学生を中心に公演されるファッションショーです。このファッションショーを実施しているのが「EVE」という学生団体。参加学生たちは、デザイン・制作・演出・メイク・プレス・広報・舞台・照明・音楽・映像・会計・記録等のチームに分かれ、本番まで準備を続けます。

毎年4月には募集を呼びかけ、服飾美術学科以外の学生も参加が可能です。ファッションショーの開催を通じて、メンバー全員がひとつの目標を追いかけ、苦難を乗り越えて仲間と信頼関係を育み、そして感動の記憶が刻まれる代え難い経験となることでしょう。



東京家政大学グローバル教育センター

高い専門性+英語力・グローバルマインドを築く

ニュージーランド・マッセイ大学 幼児・初等教育&英語研修

自然豊かで多様性を尊重するニュージーランドの教育を学ぶ

ニュージーランドでの幼児・初等教育&英語研修は今年で3回目となります。北島の中核都市パーマストンノースにあるマッセイ大学での語学研修とともに、現地での就学前教育機関(ECE センター)や小学校を訪問しての保育・教育活動への参加を通して、国際的な視野を深めていくことを目的としています。また、2週間にわたり、一人一家庭のホームステイを通して異文化理解を深めていくこともできます。今回は2回の引率に関わった児童教育学科の半澤嘉博教授にお話を伺いました。



児童教育学科 半澤 嘉博教授(右)

英語の語学力を高める

Q 2週間の英語研修は
どんな成果がありますか？

A ニュージーランドの英語は、米国の英語とは多少異なり、英国の発音やイントネーションに近いものです。就学前教育機関 (ECE センター) や小学校でも、子供たちが置みかけるように話しかけてきますので、英語で即応しなければなりません。また、ホームステイでは、日常的な会話だけでなく、日本の様々な伝統文化などにも興味があり、質問を聞き取るとともに英語で分かりやすく説明しなければなりません。そういった環境が必然的に自分自身の語学力を高めてくれます。僅か2週間の研修ですが、日本に帰ってきてから、少し英語耳に変わってきている自分自身に気づくはず。この留学をきっかけに、英語を自分の将来の有能な資質能力にしていけるという自信をもち、継続して英語を学んでいくことが大切です。



マッセイ大学の始業式
パーマストンノース市長と



ホームステイ先での家族との団らん

保育士・教員としての 資質・能力の向上

Q 就学前教育機関 (ECE センター) や
小学校の訪問にはどんな成果がありますか？

A ニュージーランドでは、5歳の誕生日まで日本の保育園や幼稚園に当たる就学前教育機関 (ECE センター) に通うことが一般的です。そして、5歳の誕生日から小学校に通い始めます。実際に訪問してみると、教育制度だけでなく保育や教育の内容も日本と異なることが多いことに気づきます。特に、自分の個性を意識させること、自分の考えをしっかりと表現させること、仲間や環境を大切にすることを重視していることなど、将来、保育士や教員を目指している学生にとっては、これからの日本の保育や教育を考える上で大切な学びになります。



ECEセンターや小学校への訪問

マオリの伝統や文化に触れる

Q ニュージーランドならではの
学びがありますか？

A 昨年のラグビーワールドカップでのオールブラックスの活躍により、「ハカ」が日本でも有名になりました。ハカは、マオリ族の儀式であり、畏敬に満ちたハカは、戦う時だけでなく、和平を結ぶ時にも互いの部族のプライドを大切にするためのものです。昨年、郊外のマオリ族の多い地域の小学校を訪問した時も、子供達にも伝承されている儀式や言葉かけ、また歌の交歓などで温かく迎えてもらい、感激しました。

マオリの挨拶「キア・オラ」は「こんにちは」という意味です。日常の様々な場面で見聞きすることができます。講義の中でも生活に根差したマオリ文化を学ぶことができます。ぜひ、この機会に異文化理解を深めて、国際人としての感覚を身に付けてください。



マオリ文化を学ぶ講義



オールブラックスメンバーの試合見学

マッセイ大学の学生との交流



オリエンテーションでのマッセイ大学学生との交流

Q マッセイ大学の学生達とは
どんな交流ができますか？

A マッセイ大学は4万人を超えるニュージーランド最大の学生を有する国立大学です。農業や酪農、獣医学などを中心とした学部が特に有名で、世界各国から4千人を超える留学生がいます。大学内での昼休み等での交流だけでなく、プログラムとして、市内オリエンテーション、音楽イベントでの交流等の機会も設定してあります。同年代のコミュニケーションにも積極的に取り組んでみてください。

マッセイ大学幼児・初等教育&英語研修も2019年度で3回目を迎え、受け入れ側の現地スタッフにも東京家政大生の取り組みに関して高く評価していただいております。また、参加した学生からも満足度100%、「現地の文化だけでなく現地の保育・教育を実際に目で見て、この研修ならではの学びをすることでとても嬉しかった」「自分がどのような保育者になりたいのか、どのような保育所に勤めたいのか、自分の気持ちが少し理解できた」「新しいことにチャレンジする楽しさを経験できて、よかった」「私の学びたいことが学べて、体験できてよかった」といった学生の次の活動への意欲につながる研修への感想が多数寄せられています。

保育士や教員を目指す学生にとって、ホームステイ先や大学で実践的な英語を身に付けるとともに、海外での保育や教育の実際に触れることは、グローバルな視点をもつことができる貴重な体験となるでしょう。ぜひ多くの方に参加してもらいたいと思っています。

ゼミの学外活動で社会教育の実践、女性の社会運動をテーマに卒論執筆



人文学部教育福祉学科4年

岡田 萌さん

今回ご紹介する岡田さんは、じっくり丁寧に自分と向き合うことで、自分自身が何にどのくらいの興味関心を持っているのかを把握しながら、自分の価値観を大切に生きていく女性です。そんな岡田さんに、東京家政大学に入学してからの出来事や自身で感じたこと、残り1年間となった大学生活の今後について、語ってもらいました。

教育福祉学科への入学 決め手は対人援助を 多角的に学ぶ

母と姉が東京家政大学の出身で、中学生の頃から緑苑祭（学園祭）へ足を運んでいたこともあって、雰囲気の良い大学だなと感じていました。進路を考え始めたときに、対人援助職に興味を持ったのですが、その中で何をするかまでは絞っていませんでした。東京家政大学の心理カウンセリング学科も進学先の候補として迷ったのですが、将来絶対に心理カウセラーになりたい、養護教諭になりたい、というように明確な進路に絞り込んでいなかったこともあり、広く学べる選択肢を優先することにしました。社会教育・社会福祉・心理の分野を多角的に学べる東京家政大学の教育福祉学科を志望し、入学を決めました。

教育福祉学科での学び ゼミで社会教育活動の実践

大学1・2年生では、講義を中心に一般的な分野を学び基礎を固めました。そして、大学3年生から履修できるゼミが大学での学修の大きなターニングポイントになりました。社会教育を学ぶゼミに入ったことで、学びの場が一気に学外活動へとシフトしたからです。

大学3年時のゼミでは、NPO法人と協力して、味噌作りを題材にした市民向け講座を実施しました。味噌作り自体は毎年ゼミの恒例行事として継続されているのですが、この市民向け講座では、味噌作りを通して、食の大切さや食料自給率、フードマイレージ（*）といった内容を取り上げ、社会教育の実践へと繋がりました。様々な年齢層が集まる市民の交流の場も提供できましたし、クイズ形式を取り入れることで、社会問題を身近に楽しんで学べる工夫もしました。

ゼミの活動で、色々な人と触れ合う機会が増え、多様な視点から話を聞く機会も多くなったことは、自分の視野も広がってくれています。さらに、緑苑祭（学園祭）では大学近隣のスワンベーカーリー十条店（障がい者雇用の場を作り、自立と社会参加を応援する会社が運営するパン工房）と協働で取り組み、教育福祉学科の企画内で味噌クッキーを配布することにも携わりました。わたしたちは大学生にすぎないけれど、大学生が一生懸命に動くこ

とで、実現できることがあると実感できましたし、何よりも達成感がありました。（*）「食料の輸送距離」という意味で、食糧の輸送に伴い排出される二酸化炭素が、地球環境に与える負荷に着目したもので、（ウィキペディア）

残りの学生生活 女性の社会運動を 卒論テーマに

4年生は、卒論の執筆に時間を割く予定です。テーマは、女性の社会運動の変遷を軸にしながら、女性の権利について考え、男性や何れの性別も持たない人の権利についても広げて論じる予定です。このテーマに決めたのは、昨年11月に母親が授乳中に寝てしまい、赤ちゃんが窒息した痛ましい事件が影響しています。この事件について世間では、母親を擁護する声も大きかったのですが、母親を非難するコメントをインターネットに書き込む人もたくさんいて、事件背景も考えずに一方的に母親を責める行為に疑問を持ちました。女性だからという理由で虐げられている現状もあり、女性の権利やその権利向上のための運動について調べてみようと思った。ニュースでした。

将来のこと

障がい者の就労支援、 企業の一般職を選択肢に

卒業後の進路はまだ決まっていませんが、現在のところ、2つの選択肢が自分の中にあります。一つは、障がい者の就労支援。大学2年生の授業中に親たDVDがきっかけです。農業や機械りなどを通じた障がい者の就労支援が紹介され、登場していた障がい者の方々が生きて働く姿、苦労がありながらも障がい者に寄り添い続ける支援者の姿、そして何より、その現場全体に漂う空気が柔らかかったのが印象的でした。一方で、彼らへ支給されるのは自分の想像以上に低賃金という現実を知り、一人の方がそのお給料でカラオケに行くのが楽しみと語っていたことが、今でも心に残っています。この授業から1年以上経った今でも、このテーマがずっと心の中にあり、職業や業界のことを調べるようになりました。もう一つの進路として、企業の一般職も考えています。わたしは、今住んでいる

岡田さんはこんな授業を履修 (大学3年次)	
▼前期の履修授業	
・NPO運営論	・社会教育演習
・社会と人間	
・社会と文化F(共生社会を生きる-インクルージョン)	
・公的扶助論	・博物館資料論
▼後期の履修授業	
・社会教育演習	・企業内教育
・倫理学	・日本の歴史
・博物館資料保存論	
▼集中講義	
・博物館情報	・メディア論
・博物館経営論	

岡田さんって、こんな人!
好きな食べ物:牛タン
休日の過ごし方:ゲーム
好きな言葉:正義の反対はまた別の正義





資の中でモノを大切に使う必要はない、誰かに、道具がよく壊れ、しかも故障のまま放置されるのが多いこと。そのため現在は、正しい道具の使い方の指導から取り組み、課題の根本からの解決を目指しています。

活動中に苦労したこと
始めは誰からも興味を持ってもらえず

活動当初は、教材を作成していても、誰からも興味を持ってもらえない、そんな状況でした。それでも、学生や同僚との信頼関係を深めていくことで、「次はこれを学びたい」といった意欲が学生から出てきたり、「これはどうやって作るの?」という質問を受けたりするようになりまし。徐々に、学生や同僚からの興味関心を感じ取ることができて、嬉しかったですね。慣れながら、現地語のソマリ語(*)を積極的に使うことで、こちらの熱意もアピールできてきているのかなと感じました。

(*) ジブチの公用語はフランス語とアラビア語

服飾の技術と指導経験をたずさえ、 アフリカで女性の職業訓練指導

JICA青年海外協力隊
 (派遣先:ジブチ、分野:服飾)

樋口 和佳奈さん
 家政学部服飾美術学科
 2013年卒業



**ジブチに住んでみて
 真夏は気温45℃超え**

ジブチは世界一暑いと言われる国で、水も電気も食べ物も全て輸入です。物価が日本並かそれ以上に高いことに驚きました。真夏は45℃を超えますが、電気が高いためクーラーが使えません。この暑さがこの国の魅力だと現地人は言いますが…。

国民のほとんどがイスラム教徒で、みんな親切です。アフリカと聞くと危険そうというイメージが付きものですが、ジブチはとても平和で、危険を感じたことはあまりありません。

**JICA青年海外協力隊での成長
 焦らない、どうにかなる**

生活の中でどんなことが起きても冷静に対処できるように、生活力がついたと思います。現地では一人暮らしをしています。インフラが不安定で断水や停電の頻度が高いです。それに生活

本号の「卒業生の活躍」は、アフリカ大陸はジブチ共和国からお伝えします。JICA青年海外協力隊の隊員として活躍する樋口和佳奈さんは、2013年に家政学部服飾美術学科を卒業、2018年6月から2年間の任期で現在ジブチ共和国へ派遣されています。現地での活動の様子などを紹介いたします。

ジブチ共和国
 — “世界で最も暑い国” —



アフリカ大陸東部いわゆる「アフリカの角」に位置するジブチは、面積が四国の1.3倍、人口も100万を切る小国です。「世界で最も暑い国」とも形容されることが多く、盛夏の7月の平均最高気温は42度になることも。国を東西に貫くタジュラ湾はサンゴ礁の宝庫で、ジンベイ鯨の回遊域でダイビングスポットとなっています。

参考: <https://www.jica.go.jp/djibouti/office/about/greeting.html>

**大学時代とその後
 服飾の技術と指導経験を生かして**

幼い頃から祖母に裁縫を教えてもらっていたので、裁縫が唯一得意なことでした。将来はファッションの道に進みたいと思い、東京家政大学を選びました。大学時代は、友人と一緒に服やアクセサリーを作って展示即売会に参加したことが一番の思い出です。自分を表現するもの作りと、友人とともに切磋琢磨できたことが貴重な経験でした。

大学卒業後、すぐに東京家政大学の服飾美術学科で期限付助手として5年間勤務。頑張る先輩たちをサポートでき、充実した毎日を送ることができました。同時に大学時代から行っていたアート活動も続け、個展の開催や著名人への作品提供といった活動にも取り組んでいました。

**ジブチでの活動内容
 若い女性向けに縫製指導**

職業訓練校で縫製コースの指導員として、10代後半から20代前半の女性を対象に技術指導をしています。授業内容の改善はもちろん、授業内で現地人や外国人向けの商品となる民芸品を制作しているの、その完成度を高める指導も行っています。

指導の中で着目したのは、限られた物



樋口さんってこんな人

出身地:茨城県ひたちなか市
 帰国したら食べたいもの:お寿司
 ジブチでの休日の過ごし方:
 外に娯楽がないので、自宅でミシンをかけたり、映画鑑賞をしたり
 座右の銘:失敗してもいいから、自分らしく。

樋口さんの一日はこんな感じ

- 5:30 ● 起床
- 7:00 ● 出勤(校長先生の車で学校へ)
- 10:00 ● 同僚の手作りご飯
- 12:00 ● 学校終了
- 12:00~13:00 ● 同僚と制作・授業準備
- 13:30 ● バスで帰宅
- 14:00 ● お昼ご飯(自炊)
- 15:00~18:00 ● 昼寝(暑いので体温温存のため不可欠)
- 19:00 ● 夕飯(自炊)
- 20:00 ● お風呂
- 21:00~22:00 ● 自由時間
- 23:00 ● 就寝

JICA 海外協力隊とは

JICA海外協力隊とは、開発途上国からの要請に基づき、青年海外協力隊等として派遣され、現地の人びとと共に途上国の課題解決に取り組むことを目的としています。任期は原則2年間で、帰国後は、日本や世界で協力隊経験を生かした活躍が期待されています。(参照:「JICA 海外協力隊 事業概要」<https://www.jica.go.jp/volunteer/outline/publication/pamphlet/pdf/gaiyo.pdf>)

います。青年海外協力隊は年齢が20~45歳が対象、アジア・アフリカ・中南米・大洋州・中東・欧州地域の人々のために、自分の持っている技術や経験を生かしてみたい。そうした強い意欲を持っている方が、現地の人々と同じ言葉話し、ともに生活・協働しながら開発途上国の国づくりのために協力します。

**後輩へのメッセージ
 若いうちにはできないことを貪欲に**

東京家政大学では専門的な知識がたくさん学べ、刺激を与えてくれる仲間がたくさんいて、とても良い経験ができました。この経験は社会人になってからも、確実に自分自身を成長させてくれる自信に繋がりました。

学生時代は比較的自由な時間を持てる、人生でもまたとない貴重な期間です。いろいろなものを見て学び、常に貪欲であることをおすすめします。若いうちにはできないことがたくさんあります。思いいたらぜひ行動してみてください。

2019年度
家政学部 造形表現学科
卒業展

自主企画の学外展覧会、
社会へのアート発信力を養う

2020年2月11日(火)～2月16日(日)、
2019年度の造形表現学科4年生による
「卒業制作展」が開催されました。東京家政
大学で4年間に渡って学んだ知識や技術を
駆使して、多岐にわたる分野の個性あふれ
る作品が展示されました。会場は北区の「北
とぴあ」地下1階にある展示ホール。学生
の家族、友人、本学関係者をはじめ、地域
の方々も足を運んでくださいました。

卒業制作は、学生が入学してから学んで
きたさまざまな分野の中で、自分が一番興
味があり、自信があるものを選んで卒業制
作に取り組みます。専門分野ごとのゼミで
制作を進めながら卒業制作展も自主企画し、
「社会へアートを発信する場」のつくり方も
学びます。

《分野》

絵画、日本画、版画、
視覚・コミュニケーションデザイン、
メディア・情報デザイン、
映像メディア、織物、
染色、金工ジュエリー、
陶芸、住環境・まち、
空間・インテリアデザイン、
彫塑、芸術学



野原 ひなのさん

(家政学部造形表現学科 2020年3月卒業)

作品タイトル「welling」



“はっきりとわからなくても、
力強く存在するもの”

作品のテーマは、「言葉になら
ない感情・想い・考えが抑え
れず込み上げ、生まれ出た何か。
はっきりとわからなくても、力
強く存在するもの。」です。わた
し自身、感情などを積極的に言
葉に出さないタイプですが、そ
れでも、意識せずとも心にわあっと溢れ出るもの、何か譲れない
ものがあって、目に見えず言葉にもしないものだけけれど、その存在に価値を見出しテーマに据えました。

作品の制作は11月から本格的に始め、壁に釘を打って経糸を
張り、織っていく作業でした。全て手作業です。家に作品を持ち
帰ることはできず、毎日学校に通い、作業を続けました。

中間報告の際には、指導教員から凹凸の具合についてアドバイ
スを買いました。中間報告の時点では、展示作品よりも凹凸が多
くありました。今回の作品の見どころの一つでもある色の移り変
わりが、凹凸によって見えづらくなってしまっているとのコメント
をいただきました。凹凸を減らしてバランスを最適化し、完成
へと辿り着きました。



家政学部造形表現学科

たくましい心と感性を育てる

造形表現学科では、ものづくり、デザイン、ア
ートを基礎から専門的に学びます。入学時に専門分野
を決めるのではなく、1年次にさまざまな造形表現
を体験する中で、自分の方向性を見つけていく自由
度の高いカリキュラムが特徴です。「たくましい心と
感性を育てる」を目標に、美術・工芸・デザインな
どのあらゆる造形表現を通じた人間形成に取り組ん
でいます。



課題協働型インターンシップ
「2019年度北区イメージ戦略推進部会」
(O・KISS&U・KISS) 成果報告会

「北区ニュース(広報紙)」の新コラム
本学学生が北区若手職員と協働企画

2020年2月10日(月)、東京家政大学
にて「2019年度北区イメージ戦略推進
部会」(O・KISS&U・KISS)の成
果報告会が実施され、北区若手職員および東
京家政大学からの参加学生による、2019
年度の活動についてのプレゼンテーションが
行われました。報告会には、北区の花川区長、
内田副区長、政策経営部長をはじめとする関
係者が来校され、本学からは菅谷理事長、山
本学長、手嶋家政学部長、三浦人文学部長等
が出席しました。

北区イメージ戦略ビジョン
(KISS)

北区では、北区の個性と魅力を発掘・創
造し、わかりやすく効果的に演出して広く
発信していくことで、北区の知名度とイメ
ジをより高めていくことを目指す「北区イ
メージ戦略ビジョン(KISS)」を推進し
ています。

この取り組みのひとつに、北区若手職員で構
成する推進員(O・KISS)と、大学生協
力員(U・KISS)による北区の魅力発信
があり、東京家政大学の学生がU・KISS
メンバーとして参加しています。2019年
度は6名の学生が参加しました。



「北区ニュース」の
コラム企画を発表

2019年度の活動は、学生・若手職員
ならではの感性や視点を活かして、北区の
広報紙である「北区ニュース」に連載する
コラムを企画・検討し、北区の魅力発信
するといふもの。まずは北区の魅力を発掘
するために、グループワークやまち歩きか
ら活動がスタートしました。その後、2班
に分かれて具体的なコラムの企画案を練り
上げ、最終的に2班の案をまとめ、コラム
内容を決定しました。

大学生と若手職員の10〜20代を中心とし
た若い年齢層が考え、報告会で発表された
コラムの企画内容は、さまざまな広報紙の
コラムを研究するなど下調べを徹実に丁寧
に積み上げながら、SNSを最大限に利用
する多角的な広報戦略まで展開させた内容
となっています。

「北区ニュース(広報紙)」
コラム企画のポイント

- ・子育て家族の設定でターゲットと同じ目線で
- ・登場人物のイラストと吹き出しで読みやすく
- ・色鮮やかな大きい写真で訴求力アップ
- ・Instagram開設で情報の拡充と拡散
- ・他SNSとの連携でInstagramフォロワー獲得

参加学生のコメント

- ・読み手の立場ではわからなかった コラム作りの大変さを知ることができました。
- ・実際に北区の若手職員の方と活動させていただき、多くの刺激を受け、たくさん学ぶことができました。
- ・読者の方々が北区の魅力を感じていただけるように、大学生ならではの視点からたくさん工夫を取り入れて完成した記事なので、多くの方々に読んでいただけたら嬉しいです。
- ・話し合いの中で一人ひとりの意見を大切にするという環境がとても大切だということを知りました。

なぜ「KISS」??

Kita-ku Image Strategy & Scheme(KISS)の略称です。「KISS」には、「そよがぜが軽く触れる」という意味があります。押しつけにならない、受け手の「心地よさ」を大事にした、北区からの情報発信を象徴しています。

2020年4月の「北区ニュース(広報紙)」から、「ただいまきたく※「北区」と「帰宅」をかけてます」のタイトルでコラム連載が始まります。「北区ニュース(広報紙)」は北区公式ホームページでもPDFでご覧いただけます。是非、ご一読ください!



附属女子中学校・高等学校

中高 学外コンテストで最優秀賞&ダブル入選

在校生の活躍

2019年度の英語に関する外部コンテストで
優秀な成績を修めた生徒をご紹介します。

『第26回いたばし国際絵本翻訳大賞』
中学生部門 最優秀賞 受賞

中学2年生 石川 想さん

いたばしポーロニャ子ども絵本館主催のコンテストで
友達の大切さを描いた絵本の翻訳に取り組み、見事最優
秀賞を受賞しました。

オックスフォード大学出版主催
『Big Read コンテスト』佳作 入選

高校1年 栗原 なつみさん
高校1年 山中 菜里さん

英語の本を読んで、あらすじやおすすめポイントを英
語でまとめたポスターの作成が評価され、うれしいダブ
ル受賞となりました。

※生徒の学年は、2019年度の学年です。

中学 全国学校・園庭ビオトープコンクール2019 日本生態系協会賞 4回連続受賞

在校生の活躍

キャンパスのほぼ中央にあり、本学の恵まれた自然環境のシンボルともいえる「家政
ビオトープ」。中学ビオトープ委員会を中心に環境整備や生物の観察・活動成果のまと
め発表などに熱心に取り組んでいます。その取り組みが評価され、このたび全国学校・
園庭ビオトープコンクール 2019 (隔年開催)において、日本生態系協会賞を4回連続
で受賞。2月2日(日)には秋篠宮皇嗣殿下ご臨席のもと表彰式が行われ、本校も舞台
上で表彰を受けました。



中高 2020年度 入試結果

中学・高校とも、受験生や保護者の皆様に
家政の魅力が伝えられるよう、内外の説明会
や個別相談会、塾訪問・学校訪問等で工夫・
努力を重ねてまいりました。中学入試では試
験回数を増やし、多様な受験形態で入試を
行った結果、昨年に比べて多くの入学者を
迎えることができました。高校入試では単願
希望者が大幅に増え、200名を超える入学
者を迎えることができました。

2021年度入試では、中学・高校の教育内
容をより一層発信し、魅力を伝えていきます。
前進する中学校・高等学校を応援ください。
(入試・広報部)

【中学】入試結果

	志願者数	受験者数	合格者数	入学(予定)者数
2020年度	417	278	194	72
2019年度	292	221	172	50

【高校】入試結果

	志願者数	受験者数	合格者数	単願手続者数	併願手続者数	入学(予定)者数	合計
2020年度	推薦	340	337	337	158	39/179	197
	一般	61	53	47	5	17/47	22
2019年度	推薦	257	255	255	111	30/144	141
	一般	37	32	30	2	13/28	15



校長 篠澤 文雄

新年度のご挨拶

「KASEI ビジョン」の実現に向けて

附属中高は、中長期的展望のもと、目指す学
校像の「KASEI ビジョン」の実現に向け様々
な改革に取り組んでいます。その中心が授業改
革です。国も国際化・情報化に対応する資質・
能力を育成するため、知識・技能の習得の他に、
未知にも対応できる「思考力・判断力・表現力
等の育成」や学びを人生や社会に生かす「学び
に向かう力・人間性等の涵養」を新しい学力観

と位置づけ学習指導要領を改訂しました。本校
もこの視点に立ち、今年度から探究学習とIB
(国際バカロレア)教育を導入し、未来の創り手
となる「KASEI WOMEN」の育成を目指します。
さらに、大学が進めるグローバル教育との連
動や大学の専門性を活用した高大連携も進め、
今年度は「中高改革元年」として附属校の強み
を生かした実践と募集に取り組んでいきます。

English Camp

中学 英語シャワーを3日間、 最終日には英語劇も

中学2年生は2月10日(月)～2月12日(水)に2泊3
日で、「English Camp」に行ってきました。場所は国立オリ
ンピック記念センターです。生徒7～8人につき一人の
home teacher がつきます。3日間英語のシャワーを浴び続
け、英語を使うことへの苦手意識を無くし、総合的な英語力
を向上させることを目指しました。

最終日には誰もが知っている物語を自分達でアレンジし、
英語劇を発表しました。「英語が好きになった。」「もっと英語
を勉強したい!」という声を多く聞きました。(中学2学年)



高校 ネイティブ教員による 「SDGs」に関するレッスンも

学年初の宿泊行事 English Camp が国立女性教育会館で実
施されました。ネイティブの先生の下で「SDGs」(持続可能
な開発目標)に関するレッスンを受け、最終日にはプレゼンテー
ションを行いました。

多くの先生方が「家政の生徒はとてもフレンドリーで、親切
で、素晴らしい。英語を学び続けてほしい。英語は皆さんの可
能性を広げてくれる」とお話をいただきました。今回の経験から、
英語に関わる仕事を考えるようになった生徒もおり、充実した
3日間になりました。(高校1学年)



高校 附属高校生の進路状況(2020年3月卒業生)

第一志望へ果敢にチャレンジ、 早稲田、慶應義塾、上智の難関私大へも合格

2020年度の東京家政大学への附属高校推薦入試による進
学者は、82名(家政学部56名、人文学部10名、健康科学
部5名、子ども学部10名、短期大学部1名)で在籍数の
34.9%でした。他に一般入試で3名、AO入試で1名の合計
86名が進学します。

センター試験最後の学年であった高3生の大学受験は、超
安全志向で推薦・AO入試の割合が全体でも増加しましたが、

本校では第一志望に果敢にチャレンジする生徒も多くいま
した。結果、早稲田大学、慶應義塾大学、上智大学といった難
関私立大学への合格をはじめ、薬学や看護学といった医療系
の資格が取得できる学部、就職状況の良好な女子大への合格
者・進学者が増加しています。学びたい分野や将来を見据え
て受験に備えた多くの生徒が希望の進路への扉を開きました。



2019年度 学園貢献賞 表彰式が行われました

本学園の広報に特に貢献し、新聞等マスコミにおいて記事が掲載されるなど表彰に値すると考えられる学生・生徒等や他人に対する極めて親切な行為で特に表彰に値する学生・生徒等を表彰する、本学独自の表彰制度である学園貢献賞。本制度が始まって4回目を迎えた2019年度は、以下の方々を受賞されました。2020年2月25日(火)には表彰式が行われました。

賞	受賞者・団体	表彰内容
理事長賞	EVE2019	緑苑祭でのファッションショーを目標に毎年2月から活動がスタート。服飾美術学科以外の学科・科からの参加者もあり、例年250名前後の学生が参加している。総合チーフ2人のもと、デザイン・制作・プレス・ヘアメイク・舞台・演出・記録・モデルの8つのセクションがあり、各セクションチーフを中心にメンバーが集まる。制作や演出だけでなく企業との折衝や広報等、すべて学生が自主的に行っている。指定校推薦入試の面接でも多くの受験者がEVEを知って入学を希望。2019年度からは一般高校生への呼びかけも開始した。
理事長特別賞	緑窓会 会長 中里 喜子	2014年5月から、緑窓会会長として学園、後援会、長南町等との相互理解・交流のため努力し、学園との一体化のために尽力。狭山校舎へのシンボル塔寄贈など、長年にわたる学園への思いを形にする努力は他の模範となっている。
学長賞	さつまいも商品開発プロジェクト	「さつまいもを使ったレシピ企画」株式会社東京フード 長期インターンシップ栄養学科「商品開発プロジェクト」の一環として長期インターンシップを実施。産地研修、加工体験、レシピ開発、消費者へのレシピ提案、試食販売という一連の流れを、学生のみで実施するという挑戦的な取り組み。「紀伊国屋」「伊勢丹」における試食販売において、通常の売り上げの3倍という高い販売実績あげた。今年度はメディアでも取り上げられた。
校長奨励賞	附属女子高校3年 石川 桃子	中学在学時は、アドミッションスタッフの立ち上げに参加するなどの様々な活動を行い、卒業時に成績・人物優秀者として三木賞を受賞。高校では、アメリカ大使館主催のGirls Unlimited Program やワンダフルキッズ主催の平和学習に参加。板橋区主催のカナダ姉妹都市パーリントン市訪問団では訪問団団長として参加している。高校2年次に英語検定準1級に合格(在校生では1名)し、現在国立大学及び難関私立大学現役合格を目指し学習に励む。
苦米地善行賞	健康科学部看護学科4年 関田 麻乃	駅のホームで負傷した方へ傷の処置と救急の手配を行った。後日、大学宛に本人への感謝と大学の人材育成について敬意が記載されたお礼状が届いた。
	子ども学部子ども支援学科3年 片平 麻実子、南部 美早紀	踏切内で倒れた女性を通りがかった男性とともに助け出し、救急車の手配等の対応をした。女性は狭山図書館の業務委託のスタッフで、後日委託業者からお礼の挨拶があった。

※学年は2019年2月25日現在。

東京家政大学 家政学部服飾美術学科

2019年度「卒業研究ファッションショー」開催

2020年2月9日(日)、東京家政大学120周年記念館の多目的ホールにて、2019年度家政学部服飾美術学科の卒業生による「卒業研究ファッションショー」が開催されました。当日は、卒業生の家族や友人など約600名の一般来場客が「4年間の学びの集大成」となる卒業研究ファッションショーを観覧しました。

ショーでは、研究室ごとにシーンを切り替え、テーマや世界観を表現した演出が施されました。合計約60体の衣装が発表され、ショーの企画・演出・運営などは、学生の実行委員が中心に行いました。学生にとっては、衣装制作だけでなく、それらを観客に伝える舞台表現、ショー開催の計画立案やそれを実行する力を育む機会にもなりました。

来場者からは、「洋装だけでなく和装も見られて良かった。」「エンドロールの時の笑顔が良かった。」などの感想が寄せられました。



リサーチウィークス '学園の今'を知り、次の発展・成長へ

「リサーチウィークス」は毎年2月後半、教育・研究のさらなる飛躍を目指し、約2週間に渡って全学を挙げて取り組む活動です。2020年2月も例年通り「リサーチウィークス」が開催され、FD(*)に関するフォーラム開催、教育改革推進についての研究・開発の報告会、教員による研究成果発表、事務部門の部署別成果発表、ポスターセッションなどが行われました。

ポスターセッションでは、教員・大学院・事務部門・附属中高・幼稚園・ナースリールーム・有志団体など合計88団体が2019年度のそれぞれの取り組みをポスターにまとめて会場に展示。学校法人渡辺学園が2019年度にどのような活動を実施したのか、「学園の今」を知る凝縮された空間となりました。

学校法人渡辺学園は、教職員一人ひとりが所属部門や自身の一年間を振り返り、成果や反省点を整理しながら、次の発展・成長へと繋げるための活動を組織全体で取り組んでいます。

(*)Faculty Development の略で、教育内容・方法等をはじめとする研究や研修を大学全体として組織的に行うこと



狭山校舎 ヤマザキショップ 開店



2020年4月1日より、狭山校舎4号館1階(旧ラウンジ部分)に「ヤマザキショップ」を設置し営業を開始します。販売品目は、ヤマザキパン、おにぎり、弁当、サンドイッチ、麺類、和・洋菓子、飲料、アイスクリーム、雑貨・文具等、コンビニに準じた商品を販売します。

原則として授業実施日が営業日となり、営業時間は以下のとおりです。

- 平日 午前8時00分～午後5時00分
- 土曜 午前8時00分～午後3時00分

東京家政大学博物館

企画展「ふしめの儀式」

2020年5月14日～6月17日に開催を予定しておりましたが、
新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、
2021年に開催を延期いたします。

※2020年秋は「きものと色-藍と紅を中心に-」開催予定です。
※最新の情報は当館ホームページでご確認ください。

人生のふしめにおいてわが国では古くより成人を祝い、婚礼を挙げ、死者を弔い、祭祀を行ってきました。人々の生活環境や社会情勢、文化に作用されながら、時代に伴って変化してきた通過儀礼や年中行事。特に冠婚葬祭は明治以降、徐々に現在の形式が整えられました。元服の儀は成人式に、身分ごとに異なっていた婚礼衣装は白いウェディング・ドレスに、喪服の色は白から黒へと変わっていきました。

本展では、大学生にとって最も身近といえる成人式から一生を終えるまでの儀式や年中行事について、その装いを中心に紹介していきます。また、どのようにして形式が移り変わったのか、変化のようすにも目を向けます。



厨子籠



文官大礼服(奏任官) 大正3年頃



振袖 紅綸子地枝垂桜模様 平成19年



打掛 鼠縮緬地松竹梅鶴亀模様 江戸時代末期～明治時代



丸帯 鳳凰扇花模様錦 昭和2年頃



『東京大人のミュージアム』

(昭文社 2020年1月発売)

東京家政大学博物館が紹介されています!

ISBN13 : 9784398292407 / ISBN10 : 4398292403 価格 : 880円 (税込)

かせい森の放課後等デイサービス『つくし』
「音楽発表会」で1年間の成長を披露

新型コロナウイルスの感染が世界的規模で拡大しているところですが、「つくし」では3月10日、11日の両日音楽発表会を実施しました。実施に当たっては検温や手洗いの徹底、外部の方を招かない等、万全な感染対策を行った上での開催としました。

この発表会のねらいは、1年間の成長を子どもたち自身、保護者、職員が確認することです。子どもからは「緊張したけど楽しかった」、保護者からは「皆と一緒に声を出して歌う我が子の姿に成長を感じました」との感想をいただきました。次年度も引き続き開催する予定です。



東京家政大学かせい森の放課後等デイサービス『つくし』のご紹介

放課後、障がいのある小学校1年生から中学校3年生の子どもたちが活動をしています。絵画造形活動・音楽・身体活動などを通じて、好きなことや得意なことに取り組むことで、自己肯定感を高め自立を図ることを応援しています。子どもの支援だけでなく、校内

にある「かせい森のクリニック(医療)」や大学と連携した相談活動など、保護者支援も行っています。また、子ども学部子ども支援学科の実習先として活用され、将来子どもに関わる職業に就くことを希望している学生の学びの場ともなっています。

【お問い合わせ先】東京家政大学狭山キャンパス内 電話:04-2955-6969

東京家政大学 人文学部教育福祉学科

2020年国家試験で合格率100%&合格率日本一

人文学部教育福祉学科では、2020年の国家試験でも、高い合格率を誇りました。

この他にも、社会教育主事、社会福祉主事といった資格を生かして、毎年多数の学生が地方公務員の上級職や専門職の採用試験に挑み、内定を獲得しています。

精神保健福祉士
第22回 2020年 現役合格率
100%
(全国平均合格率 62.1%)

社会福祉士
第32回 2020年 現役合格率
94.1%
(全国平均合格率 29.3%)

私立大学
現役合格率
日本一を達成!
(受験者10人以上)

記事掲載希望の方へ

「Tokyo Kasei Press 広報誌なでしこ」へ各種募集・告知・報告等の記事を掲載希望の方は、学園運営室までお知らせください。次号は2020年7月発行の予定です。〈お問い合わせ先〉学園運営室(担当:川島)メール:kawashima-n@tokyo-kasei.ac.jp

Tokyo Kasei Press Vol.84
学校法人渡辺学園 広報誌なでしこ
2020年4月発行

新型コロナウイルスの影響により、本誌掲載の行事等の開催が変更・中止になる場合があります。お問い合わせは学園運営室(03-3961-5690)までご連絡ください。

Tokyo Kasei Press 広報誌なでしこ

創設時の校章に「愛を意味し、母性愛と教育愛を象徴している」撫子(なでしこ)の花が形どられています。「平成」から「令和」の時代となった本年発行のTokyo Kasei PressをA4サイズでの広報誌にリニューアルし【なでしこ】の通称名を付けました。これからの時代を「しなやかに凛と生きる」女性として社会で活躍できるよう、願いを込めて多くの情報を発信していきます。

- 学園運営室
門脇亜希子、川島 直子、坂本 理恵、古角花亜菜
- 広報・広告推進提言グループ
安孫子奈緒、枝 隼也、小野 晴香、熊倉 直子
古渡由香里、齋藤 麻衣、原田 陽子、矢野 穂

- 発行人
菅谷 定彦(学校法人渡辺学園 理事長)
- 編集責任者
岩井 絹江(学園運営室 室長)
- 編集・発行
学校法人 渡辺学園 学園運営室
〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1
電話：03-3961-5690

- 制作・印刷
株式会社弘文社
- 表紙デザイン
坂本 理恵
- 広報誌なでしこ バックナンバー



■ キャンパス 季節の風景



ハナニラ ハナミズキ たんぽぽ

次号(2020年7月)は、学生・生徒の活動について特集する予定です。掲載希望の記事がありましたら、学園運営室にご連絡ください。

「お待たせしました」と運ばれてから、1~2分間はじっと我慢して食べ始めるのを待つ。大好物のクリームあんみつを食べる時のマイルール。アイスがちょこっと溶け出して、あんこや黒蜜と絡みやすくなったタイミングを待ち、絶妙な加減を見極めて、ほおぼる。あんみつは、もはや小宇宙。あんこ、寒天、白玉、赤えんどう豆、杏子、求肥、そして黒蜜。どの組み合わせで口に入れても相性抜群、お店ごとにトッピングもちょっとずつ違うし、何より一杯を食べ終わるまで飽きることなく堪能できる。

本号では東京家政大学の学生生活を彩るラインナップを余すことなくご紹介しました。どんな組み合わせで、どんな楽しみ方で学生生活を過ごすのか。それぞれがそれぞれに堪能できる至極の一杯が味わえますように。桜の花びらに想いを託して、春がまた通り過ぎます。84号発行にあたり、ご協力いただきました皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございます。(N.K)

我が家もご多分に漏れず、子どもたちの学校が休校となり、昼間は子どもたちだけの生活。小さないざこざが日々発生しています。当初はゲーム三昧で仲良く過ごしていたのですが、娘の作った昼食の卵の硬さで険悪なムード。ゲーム機の充電問題で淀んだ空気。家庭内で一触即発の状態です。なでしこ 84号が発行される頃にはどうなっているのでしょうか。(A.K)

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。今年は桜の開花が例年になく早く、石神井川沿いや稲荷山公園の桜も3月中旬に開花し、ご入学をお待ちしていました。

どんな夢・目標を持って入学されましたか。入学で環境の変化の大きい方もあると思いますが、早く新環境に慣れ、充実した日々をお過ごしください。学生の本分はもちろん勉強なので、自分の目指す進路に向け頑張ってください。学生時代は、多くの自由になる時間があるのでお奨めの過ごし方をご紹介します!

①おトクにアート巡りで感性育て
東京家政大学は、国立美術館・博物館大学パートナーシップに加入。学生証の提示で入館でき、国立美術館・博物館の常設展は無料。特別展は割引が受けられます。チョッと見回せば素敵な展覧会が目白押しです。

②街歩き・夢さがし
遠くに出かけなくても、周りを見渡せば古くからの街並みが整備され、古民家カフェ等も開いています。春を探しに出かけましょう。きっとステキな所が見つかります。
入学・進級の環境に慣れたころに、コロナ問題が解決していることを願いながら「あとがき」を書いています。原稿執筆にご協力くださった皆さまに御礼申し上げます。(K.I)

緑苑祭でリピーター客を生んだパン
執念の試作を繰り返したからこそ



「お待たせしました」と運ばれてから、1~2分間はじっと我慢して食べ始めるのを待つ。大好物のクリームあんみつを食べる時のマイルール。アイスがちょこっと溶け出して、あんこや黒蜜と絡みやすくなったタイミングを待ち、絶妙な加減を見極めて、ほおぼる。あんみつは、もはや小宇宙。あんこ、寒天、白玉、赤えんどう豆、杏子、求肥、そして黒蜜。どの組み合わせで口に入れても相性抜群、お店ごとにトッピングもちょっとずつ違うし、何より一杯を食べ終わるまで飽きることなく堪能できる。

年間を通じた活動の中で、一大イベントは毎年10月下旬に行われる緑苑祭(学園祭)でのパン販売。昨年2019年は「ハムロールパン」(マヨ味とカレー味の二種)を販売しました。「1日に3000個のパンを作るのですが、発酵時間が短いレシピをまずは探すことから始めました。そのレシピをベースに自分たちなりにアレンジを加えて、納得いくまで試作を重ねました」(西田さん)

新入部員募集中!
パンに興味があって好きな方なら、だれでも大歓迎!一緒においしいパン作って、パンの幸せな香りに包まれながら、みんなで一緒に楽しく食べましょう。年間1,000円の部費で、普段はなかなか味わえない焼き立てのパンを月1回ペースで食べられる、コスパも最高のサークルです。新入生のみなさん、パンサーへの入部、お待ちしております♡
活動日: 毎月第4木曜日(15:30~18:30)
場 所: 板橋キャンパス 第1調理学実習室・第1調理学実験室

公認サークル **パンサー**

本号でご紹介する公認サークルは「パンサー」。その名の通り、パンをこよなく愛し、パン好きが集まるサークルです。部員は総勢55名。月に1回のペースでパン作りの活動をしています。

今回は、部長の西田実佑さん(家政学部環境教育学科2年)と副部長の阿部裕美さん(家政学部栄養学科管理栄養士専攻2年)にお話をお聞きしました。*部員数、部長および副部長は2020年2月初旬の取材当時。



普段の活動
自宅で事前練習、
底値表で材料費管理

毎月第4木曜日、約30人を定員に板橋キャンパスの第1調理学実習室・実験室でパン作りをしています。今までに作ったパンの中で、2人のお気に入りパンを聞いてみると、部長の西田さんは「ベーコンエビ」、副部長の阿部さんは「塩パンを上げてくれました」。一方、作るのが大変だったパンは「かぼちゃパン」で、「中身のかぼちゃを蒸して餡を作り、パン生地で包む工程がちょっと大変でした。」(阿部さん)

「この『底値表』記録は西田さんが始めたもので、今後、後輩にも受け継いでいく予定。ぬかりない事前準備、徹底した予算管理でサークルを引っ張る西田さんについて、「部長としての責任感が強くて、みんなをまとめてくれて、本当に頼りになる存在です!」(阿部さん)

「この時は本当に嬉しかったですね。頑張ってきて良かったという達成感そのものでした。」(西田さん)

55名の部員をまとめる部長・副部長を中心に、緑苑祭当日は、パンの製造、ラッピング、販売、休憩などのシフトを組んで、サークル総出で2日間の「パン屋」を運営し、無事に完売しました。2020年の緑苑祭にも出店予定ですので、パンサーのパンをぜひご賞味ください!



これが大人気のハムロールパン

理事長コラム “世界を生きる”

学校法人 渡辺学園理事長 菅谷 定彦

日経ニューヨーク特派員時代④

米国トップリーダー群像② CEO2人とテニス対戦



日経ニューヨーク特派員に赴任して3カ月経った1971年5月、米国第3位の鉄鋼メーカー、アームコ・スティール

の広報担当役員がマンハッタン9番街42ストリートの米大手出版社マクグロウヒル内にある日経支局に私を訪ねて来た。アームコが日本、英国、西独、フランス、イタリアの特派員を各国1名、6月中旬に本社のあるオハイオ州ミドルタウンに招待し、ベリティ会長兼CEO(チーフ・エグゼクティブ・オフィサー)最高経営責任者、当該企業のNo.1の意味)との懇談・工場見学をして欲しいとの要請があった。

一行には、6月中旬の夕刻にミドルタウンに来てもらうが、テニス愛好家のベリティ会長が、オール・ジャパン・ジュニア・ダブルス・チャンピオンである菅谷さんにはその日の昼頃ミドルタウンに来て頂き、テニスで対戦したいとの話。私の履歴者にジュニア・チャンピオンと書いてあったためだ。

全くしておらず、ラケットも持っていない。だが久しぶりのテニスも良いか、と思いついた。その3日後、ベリティ会長の秘書から会長の指示でニューヨークのラガーディア空港に役員専用の小型ジェット機を差し向ける、との連絡。

一瞬、特定の企業にそこまでしてもらうのはどうかと考えたが、ジュニア・チャンピオンに敬意を払ったことと了解し、当日唯一人小型ジェット機に乗り1時間、快晴の中ミドルタウンに到着。直ちにアームコ本社に向かいベリティ会長と談笑の後、構内のテニスコートでプレーが始まった。

相手はベリティ会長の他、オハイオ州ダブルス・チャンピオン2人。組み合わせを変え4セットをプレーして私の3勝1敗。用意してくれたラケット5本から選んだ1本と、ベリティ会長とのダブルスの相性が良かったのか、菅谷・ベリティ組で2勝。ベリティ会長は大満足だったらしく、各国特派員とアームコ首脳との



日経ニューヨーク特派員時代のオフィスにて(1971年)

夕食会スピーチの冒頭でMr.菅谷の巧みなプレーぶりを絶賛してくれた。ベリティ会長はその1年後、ニクソン政権の商務長官に就任、日米閣僚会議では終了後私に真っ先に歩み寄り話を交わして日本の他社特派員を驚かせる場面もあった。

日本進出を計画していたホリディ・インのウィルソン会長兼CEOをテネシー州メンフィスの会長室に訪ねたのは1973年7月の猛暑の日だった。30分間来客のため待たされた後、1対1の会見に応じてくれたのは良いが、創業者でワンマン会長のせいにか3分おきに電話が入りその都度数分間応答するため、インタビューの流れがしばしば中断する。

事前にウィルソン会長の趣味がテニスと知っていた私は、彼の3度目の電話応答等の後「ジュニア・ダブルス」を省略して「オール・ジャパン・テニス・チャンピオン」のみに失礼ではないか」と声を荒げた。するとウィルソン会長は立ち上がり「申し訳ない」と頭を下げた後秘書

に「菅谷さんとのインタビュー中は電話を繋ぐな」と命じ、1時間余の会見は無事終了した。

1974年、3年振りに帰国。産業部次長兼編集委員として多忙な日々を過ごしていた同年夏、日経本社にウィルソン会長から電話が入り、日本に出張中で明日夕方、宿泊先ホテルニューヨーク・オータニのコートで1対1のシングルスをしたいの申し入れ。当時の私はテニスを全くしていなかったが、メンフィスで大見得を切った以上申し出を受けるしかない。結果はストレート負け。ウィルソン会長は「今日は菅谷の調子が悪すぎる。また次回やろう」と誘われたが、その後来日時の2度のオフアアは多忙を理由に丁寧に断った。

この時期、1961年早稲田大学卒業直後に入会した名門、東京ロンドンテニス倶楽部への足も速のいていた。日経の部長になって2年目の1983年12月、忘年会の予定が重なっていたため身体をほぐそうと思い、二女で当時東京女子ジュニア・チャンピオンの牧子と家内で東京ロンドンを1年振りに訪れた。牧子の友人で当時日本ジュニア・チャンピオンの有沢悠太君のチームとミックスタブルスをプレーすることになり、有沢君の打ったドロップショットへ余裕をもって前進したが、球が届かないと判断、思いつきり身体を伸ばしたところで左足のアキレス腱を断絶。半年間の松葉杖生活となり、兵庫県西宮市の甲陽学院中学校1年生の夏に始めたテニス人生に終止符を打った。

※次号は日経ニューヨーク特派員時代⑤「中・南米、2週間の珍道中」です。